



新型インフルエンザ



全国的に猛威をふるっている新型インフルエンザですが、新庄・最上地域でも流行しております。

全国的な傾向として、10月下旬より流行が始まっており、特徴としては、小児が成人の倍以上になっております。

今後、国民の多くが感染し免疫が出来るまで流行が繰り返されると考えられておりますが、感染予防として“手洗いうがい”“咳エチケット”の徹底等身近なことが有効です。

厚生労働省

新型インフルエンザの感染拡大は一人ひとりが防ぐ!

- 感染を予防するために こまめな手洗いうがいを徹底しましょう**
- 感染をひろげないために 咳エチケットを守ってください**
- 感染をひろげないために かったあとは外出自粛をしてください**

重症化リスクの高い方は早期受診!

● 肺炎のある方々のなかには、治療の経過や軽微の状況により、インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方がいます。(※下線部)

● 予防(こまめな手洗いうがい、人ごみを避けること)を守ってください。

● また実家の高齢や病、などの自身の現在の状況が明らか、早期に受診してください。

● インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方
重症化リスクが高い方(高齢者、基礎疾患、高齢者からの感染性疾患、免疫抑制薬、ステロイド剤などによる免疫低下、妊娠、乳幼児、高齢者)

山形県立新庄病院 電話: 03-2501-9031 FAX: 03-2501-9044 受付時間: 平日10:00-18:00
● インフルエンザに関する詳しい情報が厚生労働省ホームページ: <http://www.mhlw.go.jp/touke/saisaku/kenkou/kakusaku/kansensho/04/index.html>

■インフルエンザへの対応

① 予防の基本は…

- インフルエンザの流行前に
 - ☑ インフルエンザワクチンの接種 (特に65歳以上の高齢者、持病のある方など)
- インフルエンザが流行したら、
 - ☑ 人込みや繁華街への外出を控える
 - ☑ 外出時にはマスクを着用
 - ☑ 室内では加湿器などを使用して適度な湿度に
 - ☑ 十分な休養、バランスの良い食事
 - ☑ 外出時にはマスクを利用
 - ☑ うがい、手洗いの励行
 - ☑ 咳エチケット

② かかったら…

- ☑ 早めの受診
- ☑ 安静と休養
- ☑ 十分な水分の摂取
- ☑ マスクの着用
- ☑ 外出の自粛

③ 薬の使用にあたっては…

- ☑ 用法(用い方)、用量(用いる量)、期間(用いる日数)を守る

新庄病院DMAT発足準備急ピッチ!

震災などの自然災害や、航空機、列車事故等の大規模な事故が発生した場合に、迅速に救出・救助部門と合同して救急治療を行うための災害派遣医療チーム(DMAT)が各地に設置されておりますが、県内では5病院がその指定を受けております。

これまで最上地域は空白地域となっておりますが、新庄病院が昨年9月に開催された厚生労働省主催のDMAT研修会に参加して、DMATの認定を受けました。

今後、必要装備を整備し、県に「山形DMAT」の申請をしますが、これにより、災害時における医療救護体制のさらなる充実強化を図り、最上地域の住民の皆様にご信頼と安心を与える医療を提供してまいりたいと考えております。



クリスマスコンサートが 開催されました。

前夜からの降雪で
外は真白に雪化粧し、
白い服をまとった中庭
やヒポクラテスの木は、

きらきらと輝くイルミネーションに彩られ
ました。そのような中で、12月15日(火)にクリスマスコンサ
ートが開催されました。

大会議室を職員有志でデコレーションした、にわかコンサート会場には
夕食を終えた患者様やご家族約70名が集まってくださいました。

蘇副院長のホワイトクリスマスコンサートとなったこと、入院生活の中
でも少しの癒しを感じていただきたいとの挨拶に続き、新庄市内の方々に
結成されたコーラスグループ「コールかがやき」のメンバーが、クリスマ
スソングを澄んだ歌声で披露して下さい、聴衆の皆様と優しい時間を過
すことができました。

「大空のうた」、「荒野の果てに」、「アヴェ・マリア」、「きよしこの夜」、「ジ
ングルベル」、「あわてんぼうのサンタクロース」、「サンタが町にやってき
た」、「ふるさと」などの聴き馴染んだ曲に会場の皆様も一緒にハミングし
たり、口ずさんだりとコンサート会場は和やかな雰囲気にもまれ、小さなお
子様たちがコーラス隊の方々と楽器を片手に歌声に合わせ、笑顔と元気
を振りまく姿に、会場は

拍手で湧き、コンサ
ートにかわいい花
を添えてくださ
いました。



医薬品の安全使用研修会が 開催されました



先日、病院の従事者を対象に医薬品を安全に使用するための研修会が開催されました。
研修会には、薬剤師、看護師が60名程参加し、輸液(体内に必要な水分、栄養、電解質
を点滴するものです。)が細菌で汚染されずに衛生的に調製・投与されるためのポイント
を学習しました。

輸液や注射薬が細菌で汚染されたり、針が刺さった部位から体に細菌が入ったりする
とどうなるでしょう?場合によっては、敗血症(細菌感染が全身に波及した
もので、様々な重い症状がでます。)を起こしてしまうこともあります。

この研修会は、当院の医薬品安全管理責任者(当院薬
局長)が実施することになっており、今年度はこれで2回
目の開催となりました。

1回目も輸血や注射薬の配合変化
について学習しました。

当院では、これからも患者
の皆様が安心して医療行為
を受けられるよう、従事者が医
薬品についての正しい知識を
習得し、実践していきます。



●整形外科は何を診るところ？

整形外科では、骨、関節、靭帯、筋肉など運動に関わる器官の異常を専門に扱います。

首・背中・腰などの痛み、肩から手指、臀部から足までの四肢の痛み・しびれは骨や関節、神経・筋肉などが原因で起こっていることが多く、これらの痛み・しびれのもとになる病気を調べた上で、それにあった治療するのが整形外科医です。

また、手足・骨盤・脊椎の骨折や捻挫、打撲なども運動器の障害の原因となりますので、これらの外傷の治療も整形外科が専門的に治療します。

●診療内容

当科では、主に骨折などの外傷を中心に、手術的治療が必要な方の入院治療を行っております。また、新庄市内、および近郊の先生方と連絡を取り合って診療を行っておりますので、ケガをした場合、まず近くの医院（特に整形外科）を受診していただくと、紹介の上、入院や手術などの治療が円滑に行えます。

なお、外来は手術した患者さんの退院後の診察で混みっておりますので、紹介状を持たずに直接外来を受診された場合には、待ち時間が長くなると思いますが、どうかご容赦ください。

●老人の四大骨折

老人の骨折は、骨が弱い（主に骨粗鬆症）ことにより、軽い外力で骨折が起こりやすいという特徴があります。また、骨折の起こりやすい部位も背骨（脊椎圧迫骨折）、手首（橈骨遠位端骨折）、肩のつけね（上腕骨近位端骨折）、それと、もものつけねの骨折（大腿骨近位部骨折）で、『老人の四大骨折』と呼ばれています。

（次号へ続く）

（整形外科：菅原 長弘）



透析患者様 ご家族と共に 調理実習を開催しました

10/25(日) 市民プラザの調理室にて、26名の参加により調理実習を行いました。今回のテーマは、コントロールしにくい【塩分】です。ただ減らすだけでなく、プラスの発想で上手な香辛料の使い方をサブテーマにしました。

栄養士の講義にも、今まで疑問に思っていたことの質問などあり、有意義な講義でした。

季節の野菜にカレー粉を使っての調理方法がとてもおいしく好評で笑い声や笑顔が見られ楽しい実習が出来ました。

スタッフ一同、患者様に少しでもお役に立てればと思っております。

（透析科 栗田・船見）

献立

たらのカレー風煮ライス添え
温野菜のヨーグルトソース和え
ワインゼリー



平成22年4月入院の方から

入院医療費の計算方式が変わります。

※外来はこれまでと変わりません。

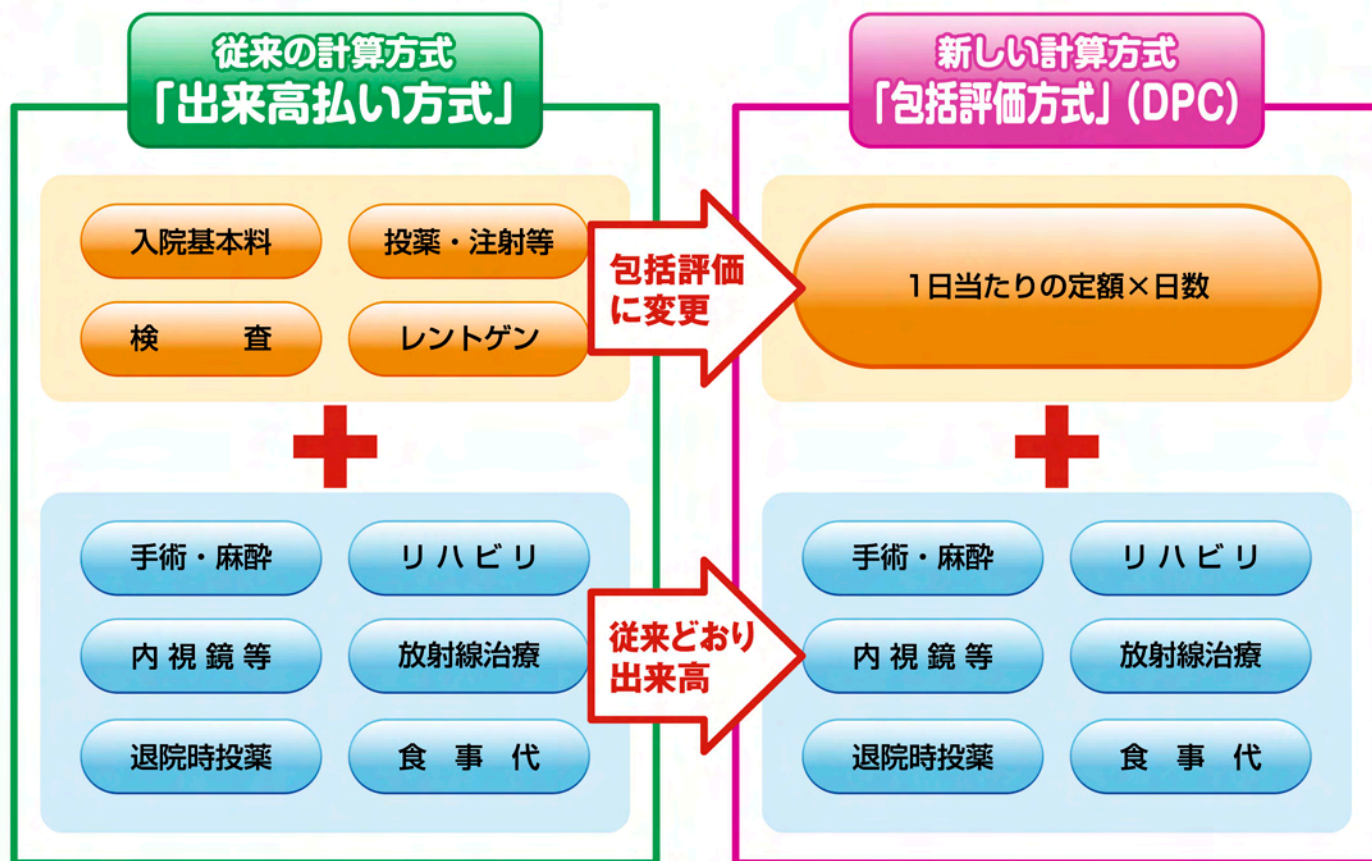
当院は、厚生労働省からの指定を受け、平成22年4月から「DPC対象病院」となります。

これに伴い、入院医療費の計算方法がこれまでの「出来高払い方式」から「包括評価方式」へと変更になりますので、ご理解のうえご承知願います。(※)



※ どのように変わるの？

現在の医療費の支払いは、薬や注射、処置、検査、レントゲン、手術、リハビリなどのすべての診療行為にかかる点数を積み上げて計算する「出来高払い方式」となっておりますが、DPC対象病院になると、入院される患者様の病気や診療内容に応じて定められた1日当たりの定額の点数（入院基本料、投薬・注射料、検査料等）＝“包括点数”と、これまでどおりの出来高点数（手術料、麻酔料、リハビリ料等）を組み合わせることで入院医療費を計算することとなります。



DPCは、単に入院医療費の算定方式の変更だけではなく、良質な医療、効率的・効果的な医療、医療の透明化等を図るため、全国的に導入の拡大がなされているものです。



ご不明な点がございましたら、医事経営課職員までお問合せください。

当院は、敷地内禁煙です。喫煙者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。